

令和元年度事業計画書

基本方針	当財団は、公益法人としてつくば市の発展を目指して、市内の文化・芸術団体等との連携を強化し、広く文化芸術の振興に資する諸事業を行い、国際都市つくばにふさわしい豊かで魅力ある市民生活の実現と健全な地域社会の形成に寄与することを目的とする。
------	---

【公益目的事業】

1. 文化芸術振興事業	<p>指定管理者として管理運営するノバホール及びつくばカピオを主な会場として音楽や演劇等の文化芸術公演や美術展等の事業をつくば市と共催により実施する。事業は、アンケート調査等を参考にしながら、関連事業（ワークショップやアウトリーチ）の充実により、市民が文化芸術に接する機会の向上を図る。</p> <p>そのほか、特定寄附金等を活用することにより、地域で活動する市民文化芸術団体の活動に対して支援等を行う。</p> <p>※詳細は別表「文化芸術振興事業計画一覧（案）」参照</p> <p>（１）つくば国際音楽祭事業</p> <p>優れた音響効果を持つノバホールの特性を活用して音楽祭を開催する。35 回目の開催となる今年は、隔年で招聘している「NHK交響楽団」公演などのクラシック音楽を中心に、ポピュラー系音楽（ワールドミュージック）、ジャズを含めて全5公演を実施し、クラシックファン以外の入場者の促進を図る。</p> <p>《計画する事業》</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 40%;">クラシック系音楽</td> <td style="width: 20%;">3事業</td> <td style="width: 40%;">（30年度 3事業）</td> </tr> <tr> <td>ポピュラー系音楽</td> <td>1事業</td> <td>（30年度 1事業）</td> </tr> <tr> <td>ジャズ系音楽</td> <td>1事業</td> <td>（30年度 1事業）</td> </tr> </table> <p>（２）つくば市芸術文化事業（公演鑑賞型）</p> <p>ノバホール、つくばカピオの特性を活かして、音楽、演劇、芸能等に関する公演を開催し、市民が良質な文化芸術に接する機会を提供する。幅広い客層に対応できるように、他団体との共催公演など7事業を含めて15事業を実施する。31年度は、つくばカピオホールで実施する演劇公演の充実を図るとともに、市民ホールを活用した事業を積極的に行っていく。</p> <p>《計画する事業》</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 40%;">クラシック系音楽</td> <td style="width: 20%;">2事業</td> <td style="width: 40%;">（30年度 4事業）</td> </tr> <tr> <td>ポピュラー系音楽</td> <td>4事業</td> <td>（30年度 1事業）</td> </tr> <tr> <td>演劇</td> <td>6事業</td> <td>（30年度 2事業）</td> </tr> <tr> <td>伝統芸能</td> <td>2事業</td> <td>（30年度 2事業）</td> </tr> <tr> <td>舞踊</td> <td>1事業</td> <td>（30年度 3事業）</td> </tr> </table>	クラシック系音楽	3事業	（30年度 3事業）	ポピュラー系音楽	1事業	（30年度 1事業）	ジャズ系音楽	1事業	（30年度 1事業）	クラシック系音楽	2事業	（30年度 4事業）	ポピュラー系音楽	4事業	（30年度 1事業）	演劇	6事業	（30年度 2事業）	伝統芸能	2事業	（30年度 2事業）	舞踊	1事業	（30年度 3事業）
クラシック系音楽	3事業	（30年度 3事業）																							
ポピュラー系音楽	1事業	（30年度 1事業）																							
ジャズ系音楽	1事業	（30年度 1事業）																							
クラシック系音楽	2事業	（30年度 4事業）																							
ポピュラー系音楽	4事業	（30年度 1事業）																							
演劇	6事業	（30年度 2事業）																							
伝統芸能	2事業	（30年度 2事業）																							
舞踊	1事業	（30年度 3事業）																							

(3) つくば市芸術文化事業（市民参加・体験型）

市民参加・体験型事業を実施することにより、市民が自発的に文化芸術活動を行うための契機づくりに努める。年末の風物詩として定着し、多くの市民が合唱団として参加する「つくばで第九」に加え、3年目を迎え定着しつつあるポピュラー音楽をテーマとする音楽講座、N響メンバー四重奏によるアウトリーチ事業など3事業を予定する。また、今年度は、下記(4)美術展事業においても作品鑑賞とともに、市民参加によるワークショップを新たな試みとして実施する。

《計画する事業》

市民参加・体験型 4事業（30年度 5事業）

(4) つくば市芸術文化事業（美術）

鑑賞事業及び体験型事業を行うことで、美術作品に親しんで理解を深めるとともに、各個人で創作を行うきっかけづくりを目的として2事業を行う。

《企画展「アートセッションつくば2019」》

隔年で開催する現代美術の野外展で、筑波山麓周辺を会場として、市内在住作家を中心に15名前後の作家による近作、新作を展示する。会期中にワークショップ等の関連企画を平行して行い、屋外に置かれた造形作品の面白みや醍醐味等を、やさしく身近に感じ、親しんでもらう。

《夏休みアートデイ・キャンプ》

小中高生を対象に、筑波大学との連携共催のもと、学内において2日間の写生会を開催し、後日、作品の表彰、展示（つくば美術館）を行う。芸術専攻の学生による絵画指導、専門教官による審査等、大学の全面協力ももと好評を博し、今回で12回目の開催となる。

(5) 文化芸術活動支援事業

市内の文化芸術団体の地域貢献に努める活動、文化活動を通じたコミュニティ活動、伝統芸能保存活動等に対して、財政的、人的支援を行い、広く文化芸術の振興に資することにより市民生活を豊かにする。主要な財源となる寄附金の安定確保に努め、文化芸術活動を行う市民の支援を目指す。

2. ノバホール
管理運営
事業

(1) 施設の概要

施設名	ノバホール
所在地	つくば市吾妻1丁目-10-1
構造・規模	鉄筋コンクリート造 地上3階地下1階
敷地・延べ床面積	5,138 m ²
開館日	1983年6月

(2) 管理運営上の方針について

ノバホールの管理運営については、「地域の芸術文化の振興と住民福祉の増進を図り、もって文化水準の向上に寄与する」という設置目的に留意して遂行するもので、公の施設として市民に対して、公平・公正な利用機会を確保し、指定管理業務を適正に運用していくことを基本とする。

施設の貸し出しにあたっては、ホールの音響効果や3大ピアノ等、優れた特性を持つ環境の維持に努める。経年による施設の老朽化がすすむことから、日常的な点検を厳格に実施して安全性を確保し、加えて、消防法など各種法令及び条例を遵守し、さらには個人情報の取扱いについても法令や財団規定に基づきコンプライアンスを徹底させる。

また、貸館業務がサービス業であることを常に意識し、利用者の利便性に繋がる支援体制の整備、情報提供の強化を継続的に行い、利用者の立場に立った施設環境の向上に努め、満足度の高い施設運営を行っていく。

本年度、つくば市内では9～10月には「いきいき茨城ゆめ国体・ゆめ大会 2019」が開催される。当館も会場のひとつとして予定され、この管理運営方針に基づく「安全・安心面の充実」及び「サービスの向上」を職員一人一人心に留め、県内外からの多くの来館者に対しても、おもてなしの心をもって主体的にすすめる。

なお、当館は、つくば市・財団が共同で行う「つくば市芸術文化事業」の会場として、指定管理業務との一体的な取り組みにより、公益財団法人としての使命である、「芸術文化の振興と地域社会の健全な発展」に貢献している。よって、財団運営の総合的な視点からも、この文化芸術振興事業との連携を、今後とも積極的に行っていくものとする。

(3) 安全・安心面での取り組み

取り組み方針	達成指標
①点検の取組み 未然防止策を講じることにより事故等のリスク軽減を図る。	○法定点検及び検査、報告等を実施する。 ○巡視点検(1日4回)
②緊急時の対応 消防計画に基づき自衛消防隊を組織して、定期的な訓練を行なう。また、大	施設の巡回をおこない、火気及び消防設備動作障害、不審者及び不審物の早期発見に努める。

	<p>規模災害に際して避難所開設まで一時的に周辺地域の被災者を受け入れることにも配慮し、行政の要請に対応するよう準備をする。</p> <p>③人材育成や職員の研修等の取組み 施設の管理運営を適正に行うため、職員のさらなる能力・資質の向上に努める。</p>	<p>○設備点検(毎日) 機械設備の監視をおこない、機械設備の不具合を早期に発見するとともに機能保全に努める。</p> <p>○事前打合せ(随時) 必要事項の確認、指導を行い、利用者と協力して安全管理を実施する。</p> <p>○建物点検(毎月1回) 施設の巡回をおこない、ドアや階段手すり等の現状確認をする。</p> <p>○防火防災訓練を年2回実施する。</p> <p>○設備取扱研修を1回実施する。</p> <p>○公立文化施設協議会の研修を年2から3回参加する。</p> <p>○定期研修として応急救命法や接遇、防犯等の研修を年1回実施する。</p> <p>○定例会議として毎月1回実施し職員の対応を統一させ、催事情報を共有し円滑な運営を図る。</p>
--	---	--

(4) サービス向上面での取り組み

取り組み方針	達成指標
<p>①利用者アンケートの実施 施設を快適に利用していただくために、利用者に対して以下の設問を用意し、内容を分析し、今後の管理運営上の参考としていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の管理は行き届いているか。 ・施設は利用しやすいか。 ・職員の対応はどうか。 <p>「満足・やや満足・ふつう・やや不満・不満」</p>	<p>○施設管理について満足度(満足・やや満足を含わせて)前年度以上を目標とする。</p> <p>○施設の利用しやすさ満足度(満足・やや満足を含わせて)95%以上を目標とする。</p> <p>○職員の対応：満足度(満足・やや満足を含わせて)前年度以上を目標とする。</p>

	<p>・その他のご意見や要望など</p> <p>②情報発信事業 施設の情報を迅速，見やすく発信することで，利便性を高め施設の活性化を図る。</p> <p>③総合的にサービス向上を図り，利用者及び利用率の拡大に努める。</p>	<p>る。</p> <p>○意見・要望の掌握し，出来るものから速やかに対応をする。</p> <p>○財団広報誌に施設案内やイベント情報を掲載。</p> <p>○財団ホームページに施設情報として，催事案内，チケット販売情報、施設予約状況等を掲載し，常に最新情報を提供する。</p> <p>○つくばセンター地区活性化協議会及び筑波研究学園都市交流協議会の会員として，イベント等に参加し，地域活性化とともに館のPRを行う。</p> <p>○利便性向上のための各種サービスを実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種チケットの受託販売 ・施設利用者向けコピー・FAXサービス ・附属設備以外の備品の貸出。(プロジェクター・案内用スタンド) <p>○施設理解，親近感醸成のため，バックステージツアー等の自主事業を実施する。</p>
--	--	--

3. つくばカピオ
管理運営事業

(1) 施設の概要

施設名	つくばカピオ
所在地	つくば市竹園1丁目10-1
構造・規模	鉄筋コンクリート造 地上4階地下1階
敷地・延べ床面積	9090㎡・9130㎡
開館日	1996年8月

(2) 管理運営上の方針について

つくばカピオの管理運営については、「市民に文化活動、スポーツ活動等による交流の場を提供し、豊かな市民生活の形成に寄与する」という、館の設置目的に十分留意しながら遂行するもので、公の施設として市民に対して公平・公正な利用機会を確保し、指定管理業務を適正に運用していくことを基本とする。

施設の貸し出しにあたっては、市民の安全・安心な施設利用を図るため、日常的な施設点検を厳格に実施し、加えて、消防法など各種法令及び条例を遵守するとともに、個人情報取扱いについても法令や財団規定に基づきコンプライアンスを徹底させる。

また、貸館業務がサービス業であることを常に意識し、利便性に繋がる支援体制の整備、情報提供の強化を継続的に行い、利用者の立場に立った施設環境の向上に努め、満足度の高い施設運営を行っていく。

本年度、つくば市内では、6月に「G20 茨城つくば貿易・デジタル経済大臣会合」が、また、9～10月には「いきいき茨城ゆめ国体・ゆめ大会2019」が開催される。当館も両催事の会場地として予定されており、この管理運営方針に基づく「安全・安心面の充実」及び「サービスの向上」を職員一人一人心に留め、国内外からの多くの来館者に対しても、おもてなしの心をもって主体的にすすめる。

なお、当館は、つくば市・財団が共同で行う「つくば市芸術文化事業」の会場として、指定管理業務との一体的な取り組みにより、公益財団法人としての使命である、「芸術文化の振興と地域社会の健全な発展」に貢献している。よって、財団運営の総合的な視点からも、この文化芸術振興事業との連携を、今後とも積極的に行っていくものとする。

(3) 安全・安心面での取り組み

取り組み方針	達成指標
①点検の取組み 未然防止策を講じることにより事故等のリスク軽減を図る。	○法定点検及び検査、報告等を実施する。 ○巡視点検(1日4回) 施設の巡回をおこない、火気及び消防設備動作障害、不審者及び不審物の早期発見に努める。
②緊急時の対応 消防計画に基づき自衛消防隊を組織して、定期的な訓練を行なう。また、大規模災害に際して避難所開設まで一	

	<p>時的に周辺地域の被災者を受け入れることにも配慮し、行政の要請に対応するよう準備をする。</p> <p>③人材育成や職員の研修等の取組み 施設の管理運営を適正に行うため、職員のさらなる能力・資質の向上に努める。</p>	<p>○設備点検(毎日) 機械設備の監視をおこない、機械設備の不具合を早期に発見するとともに機能保全に努める。</p> <p>○事前打合せ(随時) 必要事項の確認、指導を行い、利用者と協力して安全管理を実施する。</p> <p>○建物点検(毎月1回) 施設の巡回をおこない、ドアや階段手すり等の現状確認をする。</p> <p>○防火防災訓練を年2回実施する。</p> <p>○設備取扱研修1回実施する。</p> <p>○公立文化施設協議会の研修を年2から3回実施する。</p> <p>○定期研修として応急救命法や接遇、防犯等の研修を年1回実施する。</p> <p>○定例会議として毎月1回実施し職員の対応を統一させ、催事情報を共有し円滑な運営を図る。</p>
--	---	---

(4) サービス向上面での取組み

取組み方針	達成指標
<p>① 利用者アンケートの実施 施設を快適に利用していただくために、利用者に対して以下の設問を用意し、内容を分析し、今後の管理運営上の参考としていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の管理は行き届いているか。 ・施設は利用しやすいか。 ・職員の対応はどうか。 <p>「満足・やや満足・ふつう・やや不満・不満」</p>	<p>○施設管理について満足度(満足・やや満足を含わせて)前年度以上を目標とする。</p> <p>○施設の利用しやすさ満足度(満足・やや満足を含わせて)90%以上を目標とする。</p> <p>○職員の対応：満足度(満足・やや満足を合わせて)前年度以上を目標とする。</p>

	<p>・その他のご意見や要望など</p> <p>② 情報発信事業 施設の情報を迅速，見やすく発信することで，利便性を高め施設の活性化を図る。</p> <p>③ 総合的にサービス向上を図り，利用者及び利用率の拡大に努める。</p>	<p>る。</p> <p>○意見・要望の掌握し，出来るものから速やかに対応をする。</p> <p>○財団広報誌に施設案内やイベント情報を掲載。</p> <p>○財団ホームページに施設情報として，催事案内，チケット販売情報，施設予約状況等を掲載し，常に最新情報を提供する。</p> <p>○つくばセンター地区活性化協議会及び筑波研究学園都市交流協議会の会員として，イベント等に参加し，地域活性化とともに館のPRを行う。</p> <p>○利便性向上のための各種サービスを実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種チケットの受託販売 ・施設利用者向けコピー・FAXサービス ・附属設備以外の備品の貸出。(プロジェクター・案内用スタンド) <p>○施設理解，親近感醸成のため，バックステージツアー等の自主事業を実施する。</p>
--	--	--

【収益事業】

<p>1. 公益目的外施設管理運営事業</p>	<p>(1) 公益目的外施設貸与 指定管理者として管理運営するノバホール及びつくばカピオの有効利用を図るため，民間団体・法人などが公益目的以外に利用する公演や展示会に施設を貸与する。</p> <p>(2) 市民ギャラリーの施設貸与 中央公園のレストハウスの一部を市民ギャラリーとして管理運営し，美術等の作品発表の場として施設貸与する。</p>
-------------------------	---